

私たちもいつかは親に

益城中生徒が幼児とのふれあい体験

町つどいのひろば「とんとん」で益城中学校3年生の生徒たちが家庭科の授業の一環として、幼児たちとふれあい体験実習を行いました。

昨年末から行われている実習は1日1クラスずつの計6クラス。1月17日は3年6組の生徒35人がとんとんを訪れました。

大勢の人がいる雰囲気驚いたのか、泣きだす幼児も。生徒たちが懸命に話しかけるとすぐに慣れ、一緒におもちゃで遊びました。

お母さんには育児の質問。子育て真っ最中の母親の声を聞き、^{ひらいあけみ}平井明美さん(惣領1町内)は「いつかは親になるときがあるので、実体験の話はためになりました」と話していました。



本の読み聞かせなどで一緒に遊びました



大会前に来庁し、出場の喜びを語る吹奏楽部員ら

益城中吹奏楽部が銀賞

第38回九州アンサンブルコンテスト

昨年12月8～9日に熊本県立劇場で行われた、熊本支部予選で金賞を受賞した益城中学校吹奏楽部は、2月8日～10日に沖縄県うるま市で開催された第38回九州アンサンブルコンテストに出場しました。

九州各地区で行われた予選を突破し、大会に参加した中学校は36校。強豪校が名を連ねる中、最初は緊張していた部員らも全力を出し切り、みごと銀賞を受賞しました。

部長の^{おしかわきくろ}押川桜さん(小峯)は「沖縄の地で堂々と演奏することができた。後輩たちには夏の吹奏楽コンクールでも九州大会を目指して欲しい」と目標を話してくれました。

益城中中央小学校PTA主催の親子ハイクが2月10日、快晴の中、行われました。同校児童や保護者など、参加者約110人を集めたハイキングは、目的地を知らされていない「ミステリーハイク」。道中には益城町に関するクイズが話題される地点が全6か所設けられハイキングを盛り上げました。

目的地の辻ヶ峰公園では日奈久遭難に逢われた佐藤澄世さんがその歴史を講話。その後、昼食の豚汁が振る舞われました。「大声大会」辻ヶ峰で「〇を叫ぶ」では益城を一望しながら「やつほー」や、「学校楽しい！」など大絶叫。他にも「宝探しゲーム」などを楽しみ、盛況のうちに帰路につきました。



クイズを解きながら進む参加者

目的地がわからない？

親子ふれあいミステリーハイク